

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究者および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	生命科学系学会合同年次大会（ConBio2017）
演題名	免疫関連分子CCL5/CCR5のマウス発達脳における役割
発表者	○中谷知音※、 <u>清水仁美</u> ※、 <u>村上浩子</u> 、 <u>和賀央子</u> 、 <u>内野茂夫</u> 【神経生物学研究室（内野研究室）】
内容	<p>平成29年12月6日、生命科学系学会合同年次大会（ConBio2017）（於：神戸ポートアイランド）において、大学院生の中谷が2年間行ってきた自身の研究内容と博士研究員（和賀、村上）や卒研生（清水）の研究結果を合わせ発表した。CCL5はT細胞や好酸球などを炎症部位に誘引するケモカインである。近年、自閉スペクトラム症患者の血液中での濃度が高いこと、また、これまでの内野研の研究から、自閉スペクトラム症病態モデルマウスの脳内での発現が高いことがわかっている。そこで、本研究では、CCL5の脳における機能を、その受容体であるCCR5のノックアウトマウスを用いて検討した。近年、自閉スペクトラム症の病態において、神経系の異常のみならず免疫系の異常が注目されている。本研究から、高次脳機能に対する免疫系分子の新たな役割がわかった。</p>
関連画像	